

令和6年(2024)9月 『古代米と秋の里山』

暑さが残っても夏終盤の松子では、ススキ、クズなど秋の七草や野菊が咲き始め、秋の気配を感じることができます。

一宮では、8月のお盆頃には稲刈りが始まりますが、松子で育てている緑米（古代米）は、8月下旬にようやく黒い花穂が伸び、開花が始まります。普通のお米よりも2か月以上遅く、収穫時期は10月末から11月です。古代米は大昔から作られてきた米の原種やそれに近い種類です。その古代米にもいろいろなものがあり、黒米などは成長が早く草丈もとても高くなり普通のお米と同じ時期に収穫できますが、成長にむらがあり、実もこぼれやすい性質があります。ちょっと大げさな言い方ですが、ブタの先祖がイノシシであるように、今、私達が食べている普通のお米は、古代米から改良されてきました。様々な品種があるお米を見ると、その歴史を感じることができます。

<問合せ先>

増田 090-8045-0606 吉田 090-5317-9738

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！

